



アレルギー症状があると思う人は8割以上 原因(アレルゲン)は「スギ・ヒノキ花粉」65.4%が最多

首都圏の女性715人に何らかのアレルギー症状があるかを聞いたところ、「あると思う」84.4%、「ないと思う」13.9%、「わからない」1.7%となり、8割以上が何らかのアレルギー症状があると回答した(グラフ①)。アレルギー症状がある人は年代が上がるほど多くなった。

※以下は何らかのアレルギー症状が「あると思う」人のみ回答

アレルギー症状の原因(アレルゲン)は、「スギ・ヒノキ花粉」65.4%、「ダニ・ハウスダスト」53.9%、「ブタクサ花粉」30.7%と続く(グラフ②)。どの年代においても「スギ・ヒノキ花粉」が6割以上と最も多く、年代が上がるほど多くなった。また、「金属」は若い年代ほど多くなった。

アレルギーの症状は、「鼻炎」80.5%、「目のかゆみ」72.2%が多く、次いで「じんましんや湿疹(アトピー性皮膚炎を含む)」40.9%と続く(グラフ③)。「鼻炎」はどの年代においても最も多かった。

※以下は「スギ・ヒノキ花粉」によるアレルギー症状(花粉症)がある人のみ回答

医師に花粉症だと診断された人は約8割 昨シーズン初めて診察を受けたのは「2月」22.3%

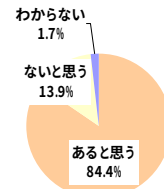
実際に医師に花粉症だと診断された人は76.2%。20代では65.7%なのに対し、35歳以上では85.4%と約20%も多くなった(グラフ④)。また、約2割の人は診断されていない(自分で花粉症だと思っている)と回答した。

2007年の花粉症シーズンに初めて診察を受けたのはいつか聞いたところ、「昨シーズンは診察を受けていない」38.1%が最多。診察を受けた人では「2月」22.3%、「1月」15.5%と続き、どの年代においても「2月」が最も多かった(グラフ⑤)。

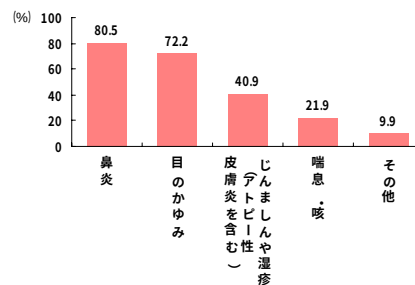
2007年の花粉症シーズンに花粉症で医師の診察を受けた人に、診察を受けたことで症状は軽くなっていると思うかを聞いたところ、「軽くなっていると思う」60.1%、「わからない・軽くなっていないと思う」39.9%となった。年代が上がるほど「軽くなっていると思う」人が多くなった(グラフ⑥)。

花粉症の症状を自覚したのは、「4～7年前」24.9%、「2～3年前」20.0%、「16年以上前」各20.0%と続く(グラフ⑦)。20代は「2～3年前」、30～34歳は「4～7年前」、35歳以上は「16年以上前」が最も多かった。

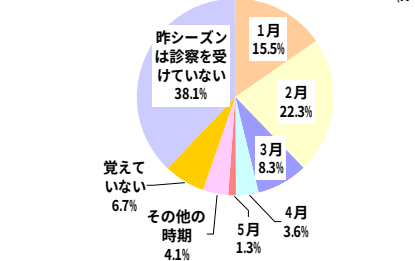
(グラフ①)
何らかのアレルギー症状があるか (N=710)



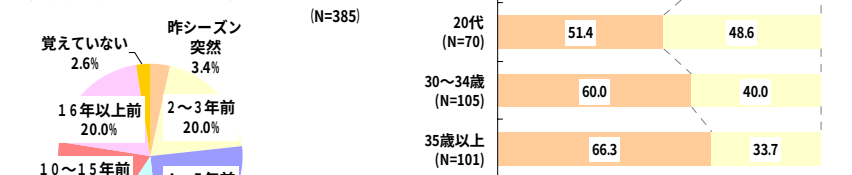
(グラフ②)
アレルギーの原因(アレルゲン)は？ ※複数回答 (N=594)



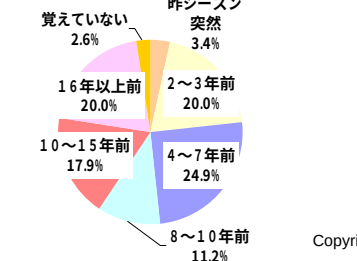
(グラフ③)
アレルギーの症状は？ ※複数回答 (N=594)



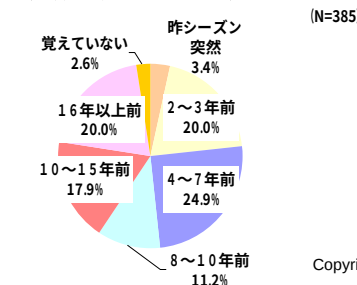
(グラフ④)
医師に花粉症だと診断されたか (N=390)



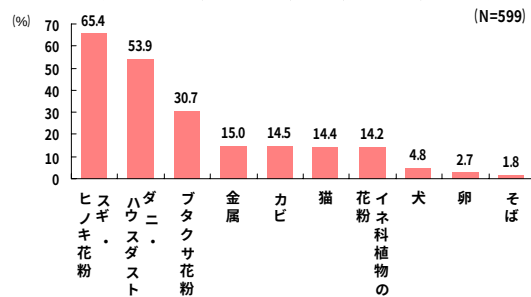
(グラフ⑤)
2007年の花粉症シーズンに初めて診察を受けた時期 (N=386)



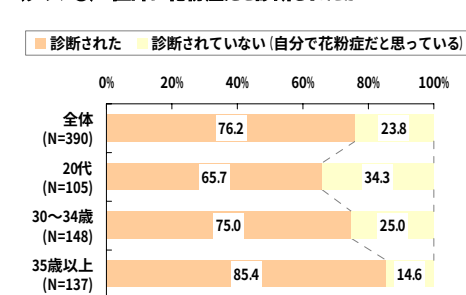
(グラフ⑥)
花粉症の症状を自覚したのはどれくらい前か (N=385)



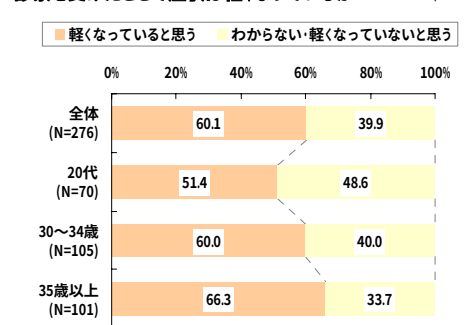
(グラフ⑦)
＜アレルギー症状があると思う人のみ＞
アレルギー症状の原因(アレルゲン)は？ (上位10位) ※複数回答 (N=599)



(グラフ⑧)
医師に花粉症だと診断されたか (N=390)



(グラフ⑨)
＜2007年の花粉症シーズンに花粉症で診察を受けた人のみ＞
診察を受けたことで症状は軽くなっているか (N=276)



シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



<花粉症対策・薬品>

【点鼻薬】※花粉症対策に点鼻薬を使ったことがある人のみ回答

よく利用する点鼻薬は、「病院の処方薬」53.1%が最多。次いで「アルガード」13.5%、「フルナーゼ」「エージーノーズ」各8.7%と続く(グラフ⑧)。「病院の処方薬」はどの年代においても最も多く、年代が上がるほど多くなった。また、その点鼻薬を使っている理由は、「医者から処方された」70.4%、「効果がある」20.0%、「即効性がある」9.3%と続く(グラフ⑨)。

【飲み薬】※花粉症対策に飲み薬を使ったことがある人のみ回答

よく利用する飲み薬は、「病院からの処方薬」72.2%が圧倒的。次いで「漢方薬」10.7%、「ストナリニ」8.8%と続く(グラフ⑩)。「病院からの処方薬」はどの年代においても最も多く、「漢方薬」は30~34歳で他の年代に比べ高い数値となった。また、その飲み薬を使っている理由は、「医者から処方された」73.8%、「効果がある」36.7%、「即効性がある」10.9%と続く(グラフ⑪)。

【目薬】※花粉症対策に目薬を使ったことがある人のみ回答

よく利用する目薬は、「病院の処方薬」61.5%が最も多く、次いで「アルガード」19.9%、「エージーアイズ」8.0%と続く(グラフ⑫)。「病院の処方薬」はどの年代においても最も多かった。また、その目薬を使っている理由は、「医者から処方された」65.7%、「効果がある」22.3%、「手軽」12.3%と続く(グラフ⑬)。

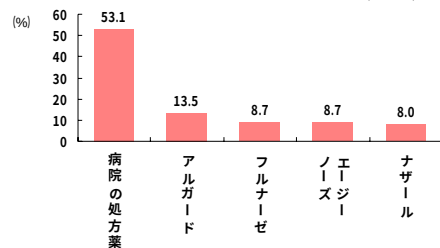
【花粉症の薬に求めるもの】

花粉症の薬に求めるものは、「効き目」85.3%、「眠くならない」74.9%、「持続性」64.1%と続く(グラフ⑭)。「効き目」はどの年代においても最も多く、年代が上がるほど多くなった。「持続性」は35歳以上が他の年代に比べ多く、「早く効く」は20代、35歳以上が他の年代より多くなった。

(グラフ⑧)

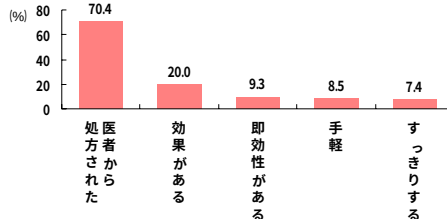
<花粉症対策に点鼻薬を使ったことがある人のみ>
よく利用する点鼻薬 (上位5位) ※複数回答

(N=275)



(グラフ⑨) その点鼻薬を利用する理由 (上位5位)

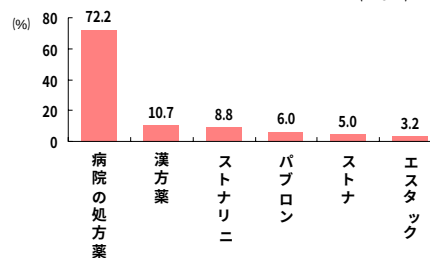
(N=270)



(グラフ⑩)

<花粉症対策に飲み薬を使ったことがある人のみ>
よく利用する飲み薬 (上位5位) ※複数回答

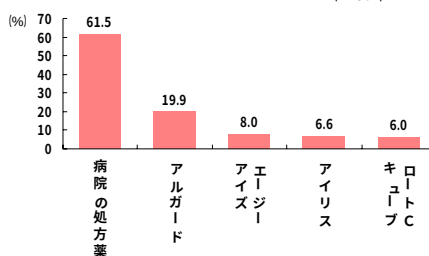
(N=317)



(グラフ⑫)

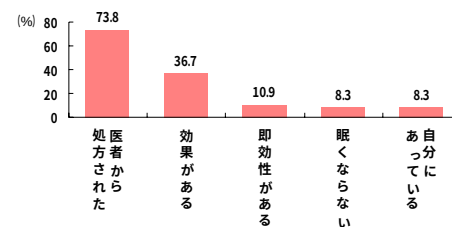
<花粉症対策で目薬を使ったことがある人のみ>
よく利用する目薬 (上位5位) ※複数回答

(N=301)



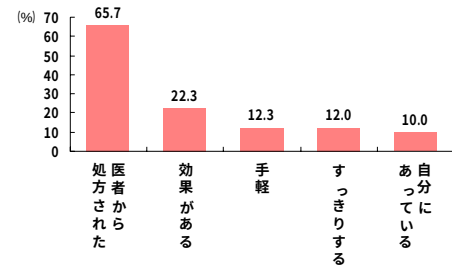
(グラフ⑪) その飲み薬を利用する理由 (上位5位)

(N=313)

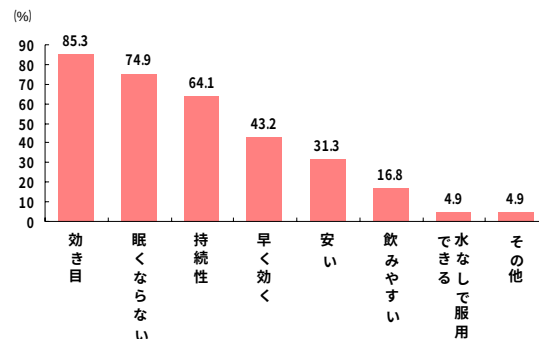


(グラフ⑬) その目薬を利用する理由 (上位5位)

(N=300)



(グラフ⑭) 花粉症の薬に求めるもの ※複数回答 (N=387)



シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



<花粉症対策 使っているもの・やっていること>

【マスク】 ※花粉症対策にマスクを使ったことがある人のみ回答

よく利用するマスクのタイプは、「立体タイプ」53.1%、「ブリーツタイプ」51.8%が人気。「ガーゼタイプ」は14.2%となった。商品は「超立体マスク」40.7%が圧倒的。また、そのマスクを使っている理由は、「息がしやすい」37.0%、「安い」27.9%、「花粉ブロック効果がある」23.0%と続く(グラフ⑤)。どの年代においても「息がしやすい」が最も多かった。「花粉ブロック効果がある」「手軽」「耳が痛くならない」「化粧品がつかない」は年代が上がるほど多く、「見た目がいい」は若い年代ほど多くなった。

【ティッシュ】

※フリーアンサーをカウント 花粉症対策でいつもと違うティッシュを使用することがある人のみ回答
花粉症のときによく購入している(使用してる)ティッシュペーパーの上位3位は「ネピア 鼻セレブ」83件、「エリエール ローションティッシュ」39件、「スコッティ カシミア」19件となった。
また、ポケットティッシュも同様にフリーアンサーで聞いたところ、上位3位は「ネピア 鼻セレブ」41件、「エリエール ローションティッシュ」20件、「スコッティ カシミア」7件となり、ティッシュペーパーと同様の結果となった。

【食品】 ※フリーアンサーをカウント

花粉症対策としてよく利用する食品をフリーアンサーで聞いたところ、上位3位は「ヨーグルト」77件、「しそ」21件、「甜茶」10件となった。
また、花粉症対策でよく利用する飲み物をフリーアンサーで聞いたところ、上位3位は「甜茶」61件、「お茶」13件、「ハーブティ」「しそ」各8件となった。

【実践して「よかった」「効いた」と思うもの】 ※フリーアンサーをカウント

上位5位は「マスク」35件、「甜茶」20件、「ヨーグルト」16件、「鼻うがい」9件、「アイボン」「サプリメント」各5件となった。

【総合して心がけていること】

毎年の花粉症対策として、心がけているものは、「外出先から戻ったら、手洗い、うがい(鼻うがい・洗眼も含む)」を心がけている66.8%、「マスクを着用している」65.3%が多く、次いで「天気予報で花粉飛散予報をチェックする」47.7%、「(花粉症の症状が出る時のみ) 医者に診察してもらい、症状を緩和する薬(注射も含む)を処方してもらっている」46.6%と続く(グラフ⑥)。34歳以下は「手洗い、うがい」、35歳以上は「マスクを着用」が最も多かった。

<回答者プロフィール>

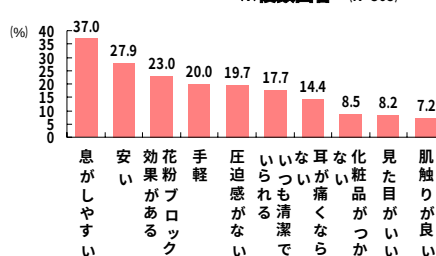
- 年齢: 20代 30.2%、30~34歳 36.5%、35歳以上 33.3%。平均年齢 32.3歳。
- 居住地: 東京都 61.3%、神奈川県 13.7%、埼玉県 12.6%、千葉県 11.7%、茨城県 0.7%。
- 未婚: 未婚 72.4%、既婚 27.6%。
- 暮らし: 親と同居(独身) 39.4%、一人暮らし 26.0%、夫婦二人暮らし 18.5%、夫婦と子供 8.0%、その他 8.1%。

<調査実施>シティリビング

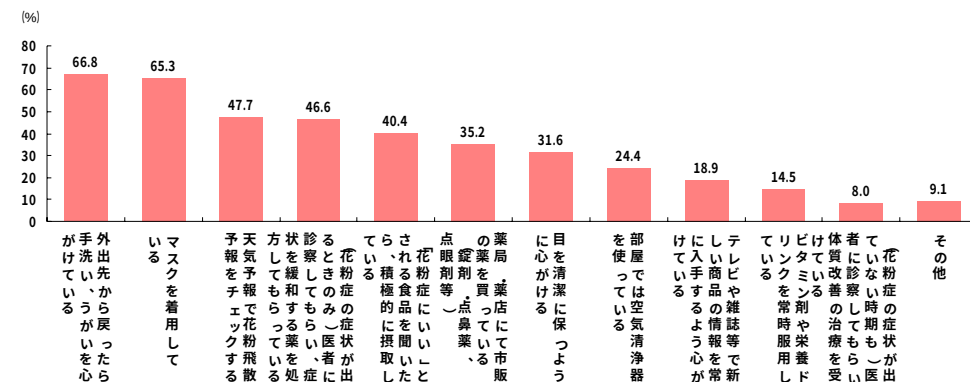
(グラフ⑤)

<花粉症対策にマスクを使ったことがある人のみ> よく利用するマスクを使っている理由 (上位10位)

※複数回答 (N=305)



(グラフ⑥) 毎年花粉症対策で心がけていること ※複数回答 (N=386)



シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430